

世界遺産登録25周年記念

世界遺産・国宝 姫路城
冬の特別公開

こてんしゅぐん

小天守群 内部公開

姫路城の小天守は、大天守の北、北西、西に配し、それぞれをイ、ロ、ハ、ニの渡櫓で中庭を囲むように口の字型に結ぶなど、連立式天守群を構成しています。今回は、姫路城世界遺産登録25周年を記念し、普段は公開していない東小天守、乾小天守、イ、ロ、ハの渡櫓などの小天守群の内部をご覧いただけます。

平成31年(2019年)2月1日(金)~28日(木)

時間 / 9:00~16:30 (最終入城16:00 閉城17:00)

公開場所 / 姫路城東小天守、乾小天守、イ・ロ・ハの渡櫓

観覧料 大人・小人 300円 ※別途姫路城入城料が必要です



- 東小天守 初公開** 天守曲輪の北東に位置し、建築当初は、「うしとら(長)のすみやぐら」と呼ばれていました。外観は三重、内部は、地上3階、地下1階となっています。
- 乾小天守** 天守曲輪の北西に位置し、建築当初は、「いぬい(乾)やぐら」と呼ばれていました。外観は、三重ですが、内部は地上4階、地下1階となっています。
- イ・ロ・ハの渡櫓** 外観二重、内部は、地上2階、地下1階となっており、反時計まわりに大天守、東小天守、乾小天守、西小天守をつないでいます。



